



地域を変える

POWER!!

地域おこし協力隊 活動報告 木村 誠さん



台風こわかったですね。どうなることかと思いましたが、地球さんの循環でできるとはいえ、程々で勘弁してほしいです。ところで、ホーリーバジルのハーブの苗を春から準備してたのですが、梅雨になってから、タイミングよく水土里サークルのみなさんと農地の整備と開拓をする機会もあり、岸良で紹介いただいた農地に植えることが出来ました。



ローゼルという赤い実のつくハーブも、一緒に播種してみました。どちらも、田んぼだったところに植えて元気に育ってるのですが、今回の台風はきつかったかもしれませんが、しあわせを運ぶ青い蜂：通称ブルービーとゆうハチさんが、紫色の花によく来るとゆうことで、ラベンダーセージのハーブなども植えてますが、弱った花も復活してブルービーも呼びよせてほしいところです。

コロナ禍でもあり、マスクも手放せない昨今ですが、じぶんもハーブのモノづくりなどで磨きをかけて、今後皆さんとシェアできるとうれしいです。



# 京和の (イベント編) お国自慢



【秋の特別イベント・ソウル世界花火祭り】  
毎年10月初めになると、ソウル世界花火祭りがヨイド(汝矣島)ハンガン(漢江)市民公園一帯で開催されます。ソウルを代表する秋のイベントでもあるこの祭りは、新しい世紀の始まりを記念して2000年度から始まりました。これまで主催国である韓国だけではなく、日本、アメリカ、中国、イギリス、イタリア、オーストラリア、カナダ、スペイン、ポルトガル、フィリピンなど世界各国が参加して



李 京和 (イ キョンファ)  
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。

います。開催当日の夜7時半から約1時間半の間、10万発の花火が打ち上げられ、ソウルの夜空を華やかに彩ります。こうして打ち上げられた花火は、ソウルの夜景と漢江に反射した光と調和して壮観を演出します。ソウルを貫通するハンガン沿いから打ち上げられるので、開催場所であるヨイド付近だけでなく、ソウル中心部はどこからでも華やかな花火をはっきりと見ることが出来ます。秋の夜、たった一日の特別な経験を楽しむために、この日だけで100万人以上の人々がハンガン一帯に集まり、世界各国の多様で美しい花火を楽しみます。